

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第13号
令和4年9月28日 文責：有内 弘

前期のまとめと日頃の学びを大切に

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成」 ～可能性を力に～

新型コロナの感染状況は、少し減少傾向の状態です。それでも学校はもとより、各ご家庭でも感染予防対策にご協力いただき、本当にありがとうございます。今後とも「感染を広げない」という観点からの感染予防のための対策や行動へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。皆様のご理解とご協力のおかげで教育活動を止めることなく、子どもたちの学びの場と時間を保障することができています。

前号（12号）でもお示したとおり、9月は前期のまとめの時期です。4月から7月に学習したことや夏休みに学んだことなどを振り返り、着実に身に付け、まとめをする時期ということになります。

また9月は、6年生の修学旅行や5年生の集団宿泊教室、中学年低学年で実施される移動教室など学校を離れ、現地で学ぶ機会があります。実際に見て、聞いて、感じて、時には質問して学ぶことは、子どもたちにとって貴重な体験であり、学ぶ機会となります。学校に帰って「まとめること」を通して学びを深めます。ぜひ豊かな学びを継続して行ってほしいと思います。

◆めざす子どもたちの学校での様子◆

【元気いっぱい】



元気に過ごすための基本的な生活習慣。朝すっきり自分で起きることができるようスーパー戦隊？からの大事な呼びかけです。

9月9日の児童集会で、保健委員会から朝すっきりキャンペーンのお知らせです。

【温もりのある】



普段おうちでもなかなか使わないミシンですが、学校の家庭科の授業では使い方を習い、ミシンを使って物作りします。お互いに教え合って、仕上げます。

6年生が家庭科の学習で、ミシンを使って縫い目を確認しながらナップザックを作っています。

【誇れる+夢の実現】



跳び箱の高さや向き（縦と横）を変えて、いろんな場が作ってあります。子どもたちは自分で選択して挑戦しています。体育館上方にある「夢」「挑戦」の文字が応援しているみたいです。

5年生が体育の授業で跳び箱運動に取り組んでいます。1回1回意欲的にチャレンジしています。

【書籍の紹介】ちょっと読んでみませんか！

題名「小学生なら声に出したい音読366」
声に出して読むと、その文章にこめられている力が自分にのりうつってくる感じがするんだ。

音読はやればやるだけうまくなるし、脳がどんどんはたらくようになるんだ。
著者 齋藤 孝 発行所 株式会社小学館